

上尾中央総合病院版 第2世代抗ヒスタミン薬フォーミュラリー

※このフォーミュラリーはアレルギー性鼻炎に対する使用を想定している。また、当院の採用薬のうち後発医薬品が存在する薬剤を対象としている。

推奨	第1推奨	第2推奨	第3推奨
一般名	ロラタジン	レボセチリジン塩酸塩	オロパタジン塩酸塩
標準的 1日薬価	16.3円/日	16.4～32.8円/日	20.2円/日
用法・用量	1回10mg 1日1回(食後)	1回5mg 1日1回(就寝前) 最大1回10mg	1回5mg 1日2回(朝と就寝前)
禁忌	<ul style="list-style-type: none"> 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 	<ul style="list-style-type: none"> 本剤の成分又はピペラジン誘導体(セチリジン、ヒドロキシジンを含む)に対し、過敏症の既往歴がある患者 重度の腎機能障害(クレアチニンクリアランス10ml/min未満)のある患者 	<ul style="list-style-type: none"> 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
特徴・注意点 など	<p><特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> 服用回数が1日1回である。 妊婦・授乳婦にも使用できる。 腎機能に応じた減量が不要である。 安価であり、中枢抑制作用が少ない。 添付文書に運転等に関する注意事項の記載がない。 <p><注意点></p> <ul style="list-style-type: none"> レボセチリジン錠と比較すると有効性が低い可能性がある。 	<p><特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> 服用回数が1日1回である。 妊婦・授乳婦にも使用できる。 ロラタジンと比較してアレルギー性鼻炎の症状改善効果が期待できる。 <p><注意点></p> <ul style="list-style-type: none"> 重度の腎機能障害がある患者は禁忌である 腎機能に応じて減量が必要である。 添付文書には【自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意すること】という記載がある。 	<p><特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> 併用注意薬がなく、相互作用が少ない。 アレルギー性鼻炎の鼻症状(鼻汁、くしゃみ等)の改善効果は期待できる <p><注意点></p> <ul style="list-style-type: none"> 服用回数が1日2回である。 中枢抑制作用は弱いですが、添付文書には【自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意すること】という記載がある。 腎機能低下患者において減量が必要。
総合評価	腎機能による減量が不要で眠気が少ないため、腎機能障害のある患者や高齢者、車の運転が必要な患者には使用しやすい。一方で、他剤と比較しアレルギー性鼻炎に対する有効性が乏しい可能性がある。	アレルギー性鼻炎に対する有効性が期待できる。一方で、腎機能に応じた減量や眠気の副作用に注意が必要であるため、高齢者や車の運転が必要な患者、眠気の副作用を避けたい患者には使用を控えた方がよい。腎機能障害のある患者に対して使用する際は、添付文書の「腎機能に対応する用法及び用量の目安」を参照すること。	相互作用は少なく、アレルギー性鼻炎に対する有効性は期待できるが、腎機能に応じた減量には注意が必要。

要約シート(第2世代抗ヒスタミン薬)

薬価は2024年4月時点

順位	一般名	先発商品名	後発品の有無	薬価	エビデンス要約
1	ロラタジン	クラリチン	あり	<p><先発品> 錠:37.5 円/錠 ドライシロップ:75.2円/g レディタブ:37.5円/錠</p> <p><後発品> 錠:16.3 円/錠 OD錠:16.3 円/錠</p>	<p>《有効性》 <ロラタジン> ・テルフェナジン(フェキソフェナジンの類似薬)と比較し、14日間の有効性は同程度であると考える。 ・セチリジン(1日10mg)と比較した場合、内服後~1日の間で鼻炎に対する有効性は低い可能性がある。ただし、患者満足度については変わりなし。</p>
1	レボセチリジン	ザイザル	あり	<p><先発品> 錠:48.9 円/錠 シロップ:8.8 円/ml</p> <p><後発品> 2.5mg錠:11.1~13.7円/錠 5mg錠:13.5~17.2 円/錠 ※OD錠も同額 シロップ:6.7 円/ml ドライシロップ:51.0~55.1 円/g</p>	<p><レボセチリジン> ・メタ解析の結果、ロラタジン(1日10mg)よりもアレルギー性鼻炎の諸症状(鼻漏、くしゃみ、鼻づまり、鼻・眼そう痒症)の改善効果が良い。 ・フェキソフェナジン(1日120mg)と比較し、4週間の鼻症状に対する効果はレボセチリジンの方が低い結果であったが、それほど効果に差はないと考えられる。</p>
2	オロパタジン	アレロック	あり	<p><先発品> 2.5mg錠:19.3 円/錠 5mg錠:24.3 円/錠 ※OD錠も同額 顆粒:33.1 円/g</p> <p><後発品> 2.5mg錠:10.1 円/錠 5mg錠:10.1 円/錠 ※OD錠も同額 顆粒:20.7 円/g ドライシロップ:49.1 円/g</p>	<p><オロパタジン> ・フェキソフェナジン(1日120mg)と比較し、単回投与の結果ではあるがオロパタジンの方が鼻症状(鼻漏、くしゃみ等)を有意に改善させる可能性が考えられる。</p> <p>《安全性》 重篤な副作用について3剤間で大きな差はないと推測される。眠気はレボセチリジンでやや多いかもしれない。</p>